

さいたま 来ぶらり通信

Contents

ぶらり、さいたまの橋めぐり…………… 1, 2 本棚ぶらり 橋…………… 3
インターネット音楽配信データベース/第6回さいたま子ども短歌賞…………… 4

わがまち

Sai 発

はっけん



ぶらり

さいたまの橋めぐり

さいたま市内には、実に900以上の橋があるのだそうです。みなさんも毎日の生活の中で、川や水路に架かる橋だけではなく、様々な橋を渡っているのではないのでしょうか。今回は、身近な交通インフラである橋の歴史を振り返りつつ、さいたま市内の有名な橋や隠れた名橋をご紹介します。



橋の起源(?)がさいたまに

…寿能遺跡の木道遺構

人間が造った最初の「橋」は、こんな形だったかもしれない…そんな想像をかき立てられるような「木道」の遺構が、大宮区寿能町の大宮第二公園の一角にあった「寿能遺跡」で出土しました。

台地の縁から低地に向かって丸木を数本、約10メートルにわたり並べた遺構が2つ発見され、縄文時代中期～後期（紀元前3000年～2000年頃）に構築されたと見られます。「橋」ではなく「木道」と呼ばれていますが、尾瀬などの湿原に設けられている丸太橋に近い形状だったようです。当時の人々が見沼の低湿地を生活の場として積極的に利用していたことを物語る、重要な遺構です。



明治以降も活躍した木造の橋

日本では、古来、大半の橋が木で造られていました。明治になると、鉄道橋や、東京・京都などの大都市で馬車鉄道や路面電車を走らせるための橋が造られました。それらは早くから鉄鋼製の橋になってきましたが、道路橋のほとんどは依然として木造の橋でした。

荒川に架かる秋ヶ瀬橋（桜区～志木市）は、明治41（1908）年頃に初めて架橋されたときは木造の



昭和29（1954）年、木造で架け替えられた羽根倉橋（手前）と、秋ヶ瀬橋の古材で造られた旧羽根倉橋（左奥）（提供…さいたま市立浦和博物館）

橋でした。秋ヶ瀬橋は昭和13（1938）年に鉄鋼製の橋に架け替えられましたが、秋ヶ瀬橋に使われていた木材は、同年、羽根倉橋（桜区～志木市・富士見市）の架橋にあたり建材として転用されました。



橋を未来につなぐために

戦後、高度経済成長期以降に、木造の橋に代わり多くの鋼製やコンクリート製の橋が全国で建設されました。その時期に建設された橋は今後一斉に老朽化していくことが見込まれます。さいたま市では、橋梁の安全性・信頼性を確保することと維持管理コストの縮減を図ることを目的として「さいたま市橋梁長寿命化修繕計画」を、平成21（2009）年度に策定、平成27（2015）年度に改訂し、計画的に補修を行う「予防保全」管理に取り組んでいます。

治水橋 (西区)

明治の末から大正にかけて行われた荒川の改修事業で新たに開削された川の流路によって、当時の馬宮村が東西に分断されてしまったことから、昭和9（1934）年に治水橋が架橋されました。現在の橋は、平成5（1993）年に架け替えられたものです。橋の名は、改修事業の促進に尽力し「治水翁」と称された齋藤祐美氏にちなんで命名されました。治水橋西側のたもと近くには、その功績をたたえる碑が建てられています。



想起させます。

約2.5キロメートル先にある、さいたま新都心のビル群が、見沼たんぼの向こうに一望できます。

大栄橋 (大宮区)

鉄道が市街地を縦断して走るさいたま市では、鉄道の線路の上を道路がまたぐ橋も多くあります。



中でも、昭和36（1961）年に完成した大栄橋は、大宮駅のすぐ北側でJR・東武各線の線路とJR大宮総合車両センターへの引込線をまたぎ、さらにその上を新幹線（昭和57（1982）年開通）の線路が越えていく、まさに「鉄道の街」のシンボリックな景観の中心にある橋です。

鯛ヶ窪橋 (浦和区～中央区)



JR武蔵野線から分岐し、中浦和駅付近から北浦和駅付近まで地下のトンネルを通して大宮駅方面につながる「大宮支線」は、さい

たま市役所の西側付近で約200メートルだけ地上に出ていますが、コンクリートの防音シェルターに囲まれているため、外部から線路は見えません。この「隠れた線路」の上を道路がまたいでいるのが、平成17（2005）年に開通した鯛ヶ窪橋です。あまり目立たない橋ですが、起伏ある地形の面白さを感じられる、通好みの橋と言えるでしょう。

永代橋 (岩槻区)



この橋には、元荒川をせき止めて農業用水を取水するための「末田須賀堰」（通称「**おとせき**の堰」）が併設されています。

現在の橋と堰は、平成6（1994）年に改築されたものです。毎年春に堰が締め切れ、上流側は豊かな水郷の景観になります。秋に堰が開けられて水が落とされると、露出した河床にキタミソウなどの希少な植物が花を咲かせます。

新大道橋 (緑区～浦和区～見沼区)

第二産業道路が芝川と見沼代用水西縁を越える橋です。昭和58（1983）年に開通しました。橋の4本の親柱（欄干の両端にある太い柱）の上に



乗っている竜の顔のオブジェが、見沼の竜神伝説を

【参考文献等】

- 『大宮市史 第4巻 近代編』大宮市役所 1982年
- 『大宮市史 別巻1 補遺・年表』大宮市役所 1985年
- 『さいたま市史一鉄道編一』さいたま市総務局総務課アーカイブズセンター 2017年
- 『わがまち浦和―地域別案内―改訂版』浦和市総務部行政資料室／編集 浦和市 1992年
- 『記憶の中の風景―写された20世紀の浦和―』浦和市立郷土博物館 2000年
- 『来て見て魅せる城下町いわつき―岩槻区ガイドブック―』さいたま市岩槻区区民会議／編集 さいたま市岩槻区役所コミュニティ課 2009年

- さいたま市WEBサイト「さいたま市橋梁長寿命化修繕計画」
- 『橋のなんでも小事典（ブルーバックス）』土木学会関西支部／編 講談社 1991年
- 中島宏「寿能遺跡」『日本歴史大事典2 二〜七』小学館 2000年
- 『橋と日本人（岩波新書）』上田篤／著 岩波書店 1984年
- 『橋の文化誌』三浦基弘・岡本義喬／著 雄山閣出版 1998年
- 『齋藤祐美―荒川の治水翁―』齋藤祐美研究会／編 埼玉新聞社 2007年
- 『埼玉ふるさと散歩 岩槻市 改版』大村進／編 さきたま出版会 1997年
- 『武蔵野線まるごと探見』三好好三・垣本泰宏／著 JTBパブリッシング 2010年

本棚 ぶらり

『なぎら健吾さんが教えてくれた東京「江戸の橋」散歩』

主婦の友社／編 主婦の友社
2015年



この本は、たくさんの江戸の浮世絵と現代の写真を用いて、東京下町に架かる橋を中心に20の橋を紹介するガイドブックです。その中の一つ、隅田川に架かる永代橋は元禄11（1698）年に將軍綱吉の50歳を祝して架橋されました。しかし文化4（1807）年、祭りに詰めかけた群衆の重みに耐えきれず落下し、千人以上が犠牲となってしまったのです。その後、永代橋は何度か架け替えられますが、大正12（1923）年の関東大震災では避難する多くの人々とともに焼け落ちてしまいました。

現在、「江戸の橋」はどのような姿となっているのでしょうか。橋探索の散歩に出かけ、東京の街に今も残る江戸情緒の名残をぜひ見つけてください。

『中野京子が語る橋をめぐる物語』

なかのきょうこ
中野京子／著
河出書房新社 2014年



あの世とこの世をつないだり、幽霊や化け物たちが出たりと、橋でイメージするものは、どの国や文化であってもおおむね共通しているようです。

革命時に他国へ亡命しようとしていたルイ16世とマリー・アントワネットがその手前で捕まってしまったフランスのヴァレンヌ橋、ゴーゴリの『外套』に登場するロシアのカリンキン橋。そんな歴史や文芸作品に登場するものや、現在も橋からの飛び込みが絶えないサンフランシスコのゴールデンゲートブリッジなど、古今東西の橋にまつわる逸話が紹介されています。

普段、私たちが何気なく渡っている橋にも、驚くような秘話が埋もれているかもしれません。

『日本の橋』

いそはたひろし
五十畑 弘／著
ミネルヴァ書房 2016年



近代以前、日本の橋は寿命が短かったことをご存じだろうか。

明治初期に来日したスコットランド人技術者の記録に、常に修理が必要で、5年くらいで全体を架け替えなければならないといったものがある。それが、「日本書紀」の中にも現れるほど古くから使用されてきた橋というインフラ設備の寿命であったというのだ。現代では考えられない。日本の橋にどんな変遷があったというのか。

木造から始まる素材の移り変わりに重厚な西欧の構造様式との出会い、そして建設に関わる契約方法の近代化への歩み。橋の歴史が、豊富な用語解説とともに、本書に収まっている。本書を通じて、古今の橋の姿をご覧いただきたい。

『歩道橋の魔術師』

ごめいえき
呉明益／著 天野健太郎／訳
白水社 2015年



自分は魔術師だという男が、僕が靴ひもと中敷きを売っている真向かいでマジック道具を売り始めた。はじめこそ、僕も近所の子供たちもマジック道具を買ったが、あらかた買ってしまい、そのうち流行らなくなる。そんなある日の仕事始め、魔術師が取り出したのは真っ黒な紙の小人だった。黒い小人はやがて歩道橋のスターとなっていくが・・・。

舞台は1970～80年代、台北駅周辺に実在した中華商場の歩道橋。台湾初の巨大なショッピングモールで、当時は流行の最先端の場所だった。本書にはそこで魔術師と出会った子供たちの、貧しさを抱えながらもエネルギー溢る生き様を綴った9つの幻想的な物語が収められている。子供たちのように魔術師の見せた幻に飲み込まれてみてはいかがだろうか。

インターネット音楽配信データベース

「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」をご利用ください!

♪ 音楽配信データベースって何? ♪

インターネット音楽配信データベース「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」は、クラシックを中心としたCD10万枚以上、180万曲以上が収録されている「オンライン音楽図書館」です。

ご自宅のパソコンやスマートフォン、タブレット等からアクセスすることにより、収録された音楽を再生することができます。



♪ どうやって利用するの? ♪

さいたま市の図書館利用者カードをお持ちの方ならどなたでもご利用いただけます。

1. 各図書館の窓口で利用者カードを提示して、「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のログインID・パスワードを受け取ります。
2. 受け取ったID・パスワードで「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のホームページ (<http://ml.naxos.jp>) にログインし、視聴します。
※図書館ホームページにもリンクがはってあります。
3. 視聴後は、必ずログアウトして終了します。
※同時アクセス数超過などによりログインできない場合は、時間を置いてから再度お試しください。

詳しくは各館窓口でお尋ねください

「第6回さいたま子ども短歌賞」 応募作品を募集しています!

- 対象** 小・中学生
- 応募方法** 所定の応募票に自作の短歌及び必要事項を記入し、下記の応募先にお送りください。
応募票は、各図書館・各公民館で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます。
- 応募期間** 平成30年7月19日(木)から9月7日(金)まで(必着)
- 賞** 優秀賞20首、入選80首
※入賞作品で作品集を作成します。
- 応募先** さいたま市教育委員会生涯学習振興課
- 問合せ** 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話 048-829-1705 FAX 048-829-1990
E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp



臨時休館のお知らせ

「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づく修繕工事のため、下記の図書館が臨時休館します。ご不便をおかけしますが、安全で快適な図書館としてご利用いただくため、ご理解ご協力をお願いいたします。

大宮東図書館

平成30年9月3日(月)から
平成31年3月19日(火)まで(予定)

与野南図書館

平成30年9月3日(月)から
平成31年3月31日(日)まで(予定)

詳しくは各館にお問い合わせください。

編集：さいたままぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<https://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <https://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 前号で桜の名所として紹介した岩槻城址公園の菖蒲池に架かる朱塗りの八ツ橋に、夏の朝を彩る睡蓮の花はまだ咲いているでしょうか。
次回発行予定：11月15日(年3回発行)



もっと身近に、
もっとしあわせに

